Q-AOS 九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構　ブラウンバッグセミナー

Brown Bag Seminar No. 146

2024 6.26(水) 12:10 ~ 12:50

12:10-12:15	◆演者紹介
12:15-12:40	◆プレゼン
12:40-12:50	◆質疑応答

オンライン (Zoom)

登録はこちら

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_VA5-kxFARTq0gcKqLkVxYg

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

建築環境のための風工学

司会：キム シューマッハ 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)

Key Words

風工学

屋外空間

風の計測・予測・評価

池谷 直樹 教授

総合理工学研究院

都市の屋外空間を安全で快適な環境とするためには，都市の建築物により構成される複雑な粗面と周辺の空気の相互作用による流体現象を理解することが重要です．建築を取り巻く屋外環境に対して，風を計測し，予測し，評価することで，快適な屋外空間を構築することができます．本講演では，見えない風を実験により計測し，数値解析により予測する手法を中心に，最新の建築環境のための風工学を紹介します．

九州大学工学部を卒業後，総合理工学府を修了し，九州大学で 2011 年に博士（工学）の博士号を取得しました．博士課程在学中は，日本学術振興会の特別研究員として，都市域を対象とした数値解析手法に関する研究に従事しました．その後，2011 年 12 月に総合理工学研究院助教着任，2019 年 12 月に同准教授，2023 年 10 月に同教授に昇任しました．修士課程在学中にドイツライプニッツハノーファー大学に留学し，教員に着任後も，マレーシア，オーストラリア，アメリカの大学や研究機関での国際共同研究を行ってきました．主な研究テーマは，建築を取り巻く屋外空気環境の評価で，都市域の風を適切かつ迅速に評価する方法の提案を行なっています．また，複雑な都市の建物群と上空大気が干渉するという流体力学としての素過程にも深く興味を持っており，工学や物理学的な手法で都市環境を改善する方法の提案を目指しています．これまでに，2014 年日本建築学会奨励賞，2017 年日本風工学会研究奨励賞，文部科学大臣表彰若手科学者賞などを受賞しています．現在興味があるホットトピックは，歩行者空間の風速の確率分布を推定する新しい方法の提案で，日本科学技術振興機構 JST の創発的研究支援事業のサポートを受け鋭意研究課題に取り組んでいます．